

事業報告附属明細書

➤ 正味財産増減計算書（内訳表）会費の振り分けに関して

本年度も昨年度に引続きコロナ禍での運営となりました。

本年度も、公益目的事業での実質費用は昨年度とほぼ同等となり、会費の振り分けは昨年同様の以下の通りとした。

公益目的事業 70%（前年度:70%）

共益目的事業 5%（前年度:5%）

法人会計 25%（前年度:25%）

➤ 正味財産増減計算書（内訳表）費用配布割合に関して

事業報告に記載した通り、2022年度はほぼ公益事業に費やした年となりました。公益法人では費用項目を公益目的事業・収益等事業・法人会計に按分して記載（人件費等はその事業への従事した割合・家賃等はその事業に使用している割合・そしてある事業に直接関連するものは直接費用）としています。

本年度も公益事業等での費用額が減少。しかし逆に協会内（会員社の皆さんの協力や事務局）の業務量は増加しました。ZOOMを主体とするセミナー準備（シナリオ作成・集客告知作成）や各種情報の収集・発信、学生向けコンテスト等でのデータ整理等、外部に依頼することなく実施していたのが実際です。

本年度もこの実態に合わせ配布割合は昨年同様とし、以下のように按分いたしました。

		公益目的事業	収益等事業	共益事業	法人会計	
人 件 費	専務理事	95%	0%	0%	5%	従事割合
	事務局長	90%	2%	2%	6%	従事割合
	派遣:経理・総務	85%	2%	2%	11%	従事割合
家賃	家賃・光熱費	85%	2%	2%	11%	使用割合
	通勤交通費	90%	2%	2%	6%	従事割合

※リース料は従来の割合を踏襲し、その他の費用は、ある事業に関連した直接対応費用となっています。

➤ 50周年事業特定預金に関して

2023年度事業計画に記しておりますが、2024年5月17日（金）～19日（日）に掛けて、渋谷ヒカリエ8階8/COURTにてクリエイターの皆さんの発表の場として「みなおしたぜ！ニッポン」展を開催いたします。

本事業は、予め積立てた費用にて執り行い積立限度額は300万と設定しています。

内容・費用概算につきましては、2023年度事業計画でご確認ください。